



急に聞こえが悪くなったら、早めに受診しましょう。

突発性難聴について

症状：ある日突然発症します。原因は不明ですが、循環障害説やウイルス感染説が有力です。30~60 歳代に好発します。男女差はありません。通常は一側性で、繰り返すことはありません。難聴の他に、耳鳴（90%以上）・耳閉塞感（60~70%）・めまい（30~50%）を伴うこともあります。

予後不良因子：発症から受診治療期間が長い

高音域低下型・聾型（高度難聴）の聴力像

ウイルス感染が疑われる症例（痛みを伴う）

めまいを伴う症例

鑑別疾患：**メニエール病** 繰り返す。よくなったり悪くなったりする。

聴神経腫瘍 脳 MRI 検査が必要。

自己免疫性難聴 採血・全身検索行う。

心因性難聴 精密聴力検査を行う。

治療：聴力低下の程度により異なります。軽度、中等度難聴の場合は
外来治療が可能です。高度難聴の症例は、入院が必要となります。

軽 度—ビタミン剤、循環改善剤

中等度—ステロイド内服（2-3 週間かけて漸減）、胃薬

ビタミン剤、循環改善剤

高 度—ステロイド点滴（約 10 日間の入院）、胃薬

ビタミン剤、循環改善剤の点滴など

ステロイド開始時期は発症から 2 週間以内が望ましい。

*ステロイドの副作用

糖尿病の増悪：糖尿病の持病がある方は、血糖値が変動するため
入院が必要となります。

感染症の悪化

消化管障害（胃潰瘍による胃痛など）：胃薬を併用

精神病（うつ状態、興奮状態、不眠など）

循環器系障害（高血圧、むくみなど）

早めの治療が
大事です！

治療成績：治癒 40%、著明回復 20%

聴力改善の確率は全体の 60%です。

自然治癒は約 30%に見られます。

約 3 カ月で聴力は固定します。



吉野耳鼻咽喉科
YOSHINO ear, nose, and throat clinic